

## 22 ていしょうじ そうもんおよ さんもん 貞祥寺惣門及び山門



山門



惣門

指定 県 宝 平成15年4月21日  
所在地 前 山  
所有者 貞 祥 寺



### ・ 惣門

本建造物は元和8年（1622）の建立で寺最古の建物である。

一間一戸草葺切妻造薬医門で17世紀後期のものである。小平（長方形断面）の親柱を建て、控柱を円柱としたあまり例を見ない門である。組み物につけられている木鼻の彫刻に特徴がある。象が鼻を上<sup>たいへいづか</sup>に巻き上げたような形式で新海三社神社東本社の向拝にある木鼻と酷似している。また大瓶束（断面が円形の束）の結綿は室町後期の様式を持ち、木鼻は複雑な輪郭をとる。

切妻造り 銅板葺 間口 11.09尺 奥行 7.70尺

### ・ 山門

三間一戸草葺入母屋造楼門で寛文12年（1672）に小泉三右衛門、重右衛門によって建立されたものである（小泉家文書「貞祥寺さんもん」による）。建立時資料が現存し大変貴重である。

入母屋造り 茅葺 1層 間口21.26尺 奥行 14.72尺 建坪 7.13坪  
2層 間口19.62尺 奥行 13.09尺 延坪 15.32坪